

グローバルスタディ II (GS II) スタート!

スーパーグローバルハイスクール (SGH) 事業の4年目が始まりました。高校2年生国際科の80名は3つの研究視点「国際平和の実現」「医療支援の推進」「水環境の改善」の中から1つを選び、新しい研究班の編成が完了しました。高校1年生 (GS I) で取り組んだ研究テーマを継続し、さらに内容を深めたいと考えているグループもあれば、昨年度とは研究視点を変えて、新しいテーマに挑戦するグループもあります。長崎大学をはじめとする研究機関や企業等と連携し、ベトナム、マレーシア、シンガポールを中心にグローバルな視点で研究活動を推進していきます。

「国際平和の実現」を研究視点とする班 (平和班)	5班	25名
「医療支援の推進」を研究視点とする班 (医療班)	8班	38名
「水環境の改善」を研究視点とする班 (水班)	4班	17名

SGH講演会 (水班) を開催しました!

5月2日 (水) 大塚耕司教授 (大阪府立大学現代システム科学域長) をお招きし、SGH講演会を開催しました。平和班や医療班も含め20名が参加し、ベトナムのハロン湾 (世界遺産) を中心に大塚先生が取り組んでおられる水環境改善活動に関する講義を聴講しました。JICA、堺市、ベトナムのクアンニン省等と連携し、マングローブの植樹、小学校での環境授業、アクリルたわしの普及による生活排水の改善、水上村での生ごみのコンポスト化、ナマズの解体油やバイオディーゼル燃料 (BDF) を使用した海上輸送やゴミ運搬船の建造、炭鉱跡地でのBDF原料樹種生育調査など持続可能な社会構築に向けた「住民参加型資源循環システム」や「廃棄物循環システム」について見識を深めました。

講義後は多数の質問や活発な意見交換が行われ、参加した生徒からは「考え方のプロセスや活動に取り組むときの着目点など参考になった」「ベトナムのニーズに合わせることで大変さがよくわかった」「研究は自分の中でかなり遠い存在だったが、(講話を聞いた後では) 実際にベトナムに行って自分で社会問題を感じてみたい」などの感想が聞かれました。今後の研究活動をさらに発展させるために、有意義な研修となりました。



自分のテーマに基づいた、
鋭い質疑応答が行われました。

気さくな先生のお人柄にも引
きつけられました。



初めて知るベトナムの状況と
先生の取り組みに興味津々です。